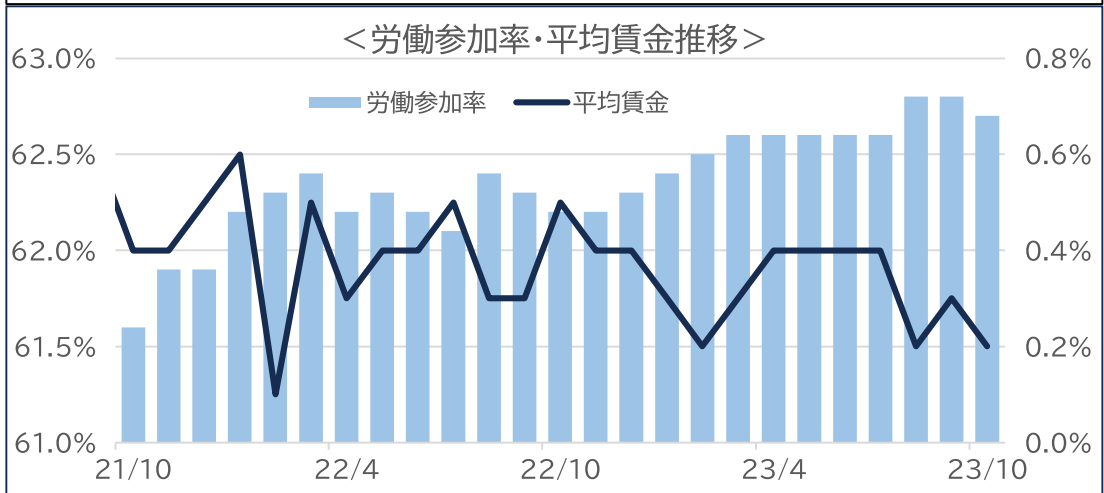
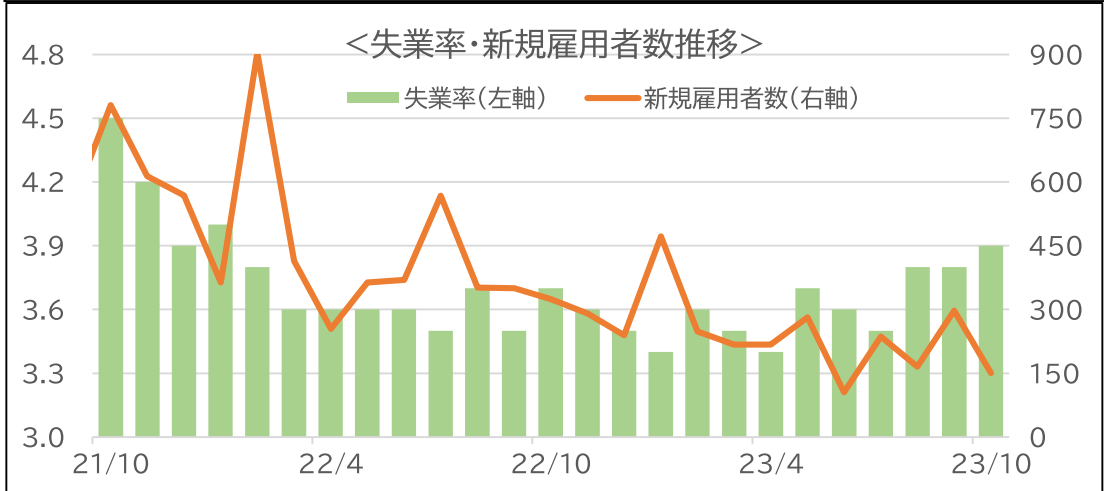


日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾  
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳  
10月米国 雇用統計

2023/11/13 第64号  
朝日田コーポレーション  
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp  
●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:



(資料)米国労働省資料より作成。

10月雇用統計では、失業率が9月から0.1%上昇し3.9%となり2022年1月以来の水準まで上昇した。また、新規雇用者数は15万人増加と鈍化傾向が継続するとともに、8月、9月分が合わせて10.1万人下方修正された。労働参加率が低下したにもかかわらず失業率が上昇しており、内容的にも米国労働市場の減速を示す結果となった。

物価に影響を与える平均賃金の伸び率については、前月比+0.2%と9月(+0.3%)から伸びが鈍化した。労働参加率が上昇したことで、労働市場の需給が改善し、賃金上昇に歯止めがかかる状況となっていた。

FRBによる金融引き締め効果が出ている中、米国の雇用環境は今後も弱含みで推移することが見込まれる。